



消防団員募集中

めざせ!! 地域のヒーロー 消防団

問 防災課地域防災係
☎ (95) 9875

第3分団 分団長 川原一哉さん



第3分団を紹介します

私たち第3分団は棚尾地区、中山地区を主管轄として日ごろから消防団活動をしています。市民の皆さんのなかには、消防団が普段どのような事しているのか知らない、と言う人もいます。



私たちは毎月、管轄地域の水門点検、消火栓点検、消防会館内の資機材の点検、資機材の取り扱い訓練を行い、災害や火災が発生した時に迅速に対応できるように管理をしたり、火災を想定した放水実践訓練を行い実際に水を出して訓練をしています。

今年は新型コロナウイルスの影響により、思うような訓練が出来ず、また消防団のイベントの観閲式、操法大会なども中止となり、皆さんに日ごろの訓練の成果を発揮する事が出来ず非常に残念です。

それでも私たち第3分団は「自分の命は自分で守る」を合言葉に訓練を行っています。団員はそれぞれ仕事や学校が終わった後に訓練に参加してくれています。入団したてのころは何もできなかった団員が日々の訓練で学び、成長し、きずなが芽生え、みんなで団結して活動する姿はとても頼もしいです。

消防団で得た防災知識や経験で、自分や自分の家族、そして周りの人を守る事が出来るのです。消防団に興味のある人、気になる人の入団を心よりお待ちしております。



町をきれいに クリッピー情報局

問 環境課ごみ減量係 ☎ (95) 9899

食品ロスを減らそう！

食品ロスとは…

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられている食品のことです。日本では、年間約2,550万トンの食品廃棄物が出ています。このうち、まだ食べられるのに捨てられるもの（食品ロス）は、年間約612万トンとされています。

この量は、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食料援助量の約2倍に相当します。これを日本人1人あたりに換算すると、毎日茶わん1杯分の食べ物を捨てていることとなります。

しかも、捨てられた食べ物をゴミとして処理するために燃料が使われることは地球温暖化にもつながります。また、処理するための費用は税金から支払われることになるのです。

家庭からの食品ロスの原因は大きく3つに分けられます。

直接廃棄

買いすぎや冷蔵庫などに入れたままで、調理されない食品

食べ残し

作りすぎや好き嫌いなどで、食べ残される料理

過剰除去

過度な健康志向や無駄な調理による、取り除きすぎた食材

食品ロスを減らすためには

家で食品ロスが出ないようにするだけでなく、食べ物を買う店、食べる店でも食品ロスを減らすことを意識することが大切です。皆さんのちょっとした行動が食品ロスを減らします。

例 賞味期限の近い値引き商品を買う
食べられる分量を注文して、食べ残しを出さない など